

MSUB 留学報告書

文学部 英語英米文学科 4年 北原朋笑

1. 初めに

私は2024年8月末から2025年5月の半ばにかけて、熊本県立大学の交換留学プログラムを利用し、モンタナ州立大学ビリングス校に留学していました。この報告書を通して、皆さんがアメリカ留学に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。

2. 学業面

授業は前期、後期ともに4つずつ履修していました。1セメスターで少なくとも12単位以上をとる必要があります。アメリカの授業の特徴として、1週間に同じクラスが3~4回あります。そのため、宿題を次の日に出さないといけないこともあり大変ですが、その分しっかりと身につけている感覚があります。授業では、グループでのディスカッションやプレゼンテーションが多くありました。現地の人の英語についていくのは大変ですが、みんな自分が留学生だということを分かってくれているので、親身になって聞いてくれます。なので、文法や単語を気にしすぎて黙り込むよりも、完璧な英語でなくても何か意見を言った方がいいと思います。一番印象に残っている授業は、日本語をテーマにしたプレゼンテーションです。教育の授業の一環で行われたもので、テーマは自分で選ぶことができました。ただし、そのテーマのプロフェッショナルになり、他の人に教える必要があります。なので、自分は日本語を教えることにしました。私の発表で初めて日本語に触れるという学生も数多くいたので、ただ知識を伝えるだけでなく、アニメや日本文化を題材にし、会話練習も取り入れながら、興味を持ってもらえるよう工夫しました。最初は先生のように教えることに戸惑いもありましたが、相手の理解度を確認しながら、丁寧に説明することで、最後には「もっと学びたい」と言ってもらえるようになり、大きなやりがいを感じました。

3. 生活面

寮はダブルルームかシングルルームかで選ぶことができ、私は2学期間ともダブルルームで暮らしました。ダブルルームの方が安いので、ルームメイトと暮らすことに抵抗のない方は、ダブルルームで暮らすのがおすすめです。トイレやシャワーは別ですが、すべての部屋には暖房設備、洗面台、クローゼット等があり、9か月間とても快適に過ごすことができました。食事は、学期の初めにミールプランを買う必要があり、バイキング形式で食べられるカフェテリアを主に利用していました。また、全ての留学生にはBFF(Billings Friendship Family)というホストファミリーのようなプログラムが割り当てられています。そのため、週末や長期休暇など学校が

ない日には BFF に遊びに連れて行ってもらったりして過ごしました。BFF と一緒に Thanks giving holiday や Easter などの祝日もお祝いしたので、言語だけでなくアメリカの文化もたくさん学ぶことができました。また私の BFF は日本文化がとても好きな家族だったので、日本食パーティーをしたり、浴衣をプレゼントしたりしました。BFFのおかげで、アメリカで素晴らしい時間を過ごすことができたと言っても過言ではありません。本当に感謝しています。



Easter Party

Halloween Party

日本食 Party

4. 金銭面

留学で不安の大きい要素の一つが費用についてだと思います。私は、月 8 万円の奨学金を頂きながら、生活していました。アメリカでは、カード払いが主流なので、現金はそれほど使うことはありませんでした。そして、モンタナへは交換留学生として派遣されるので熊本県立大学に授業料を納めれば、MSUB に支払う必要はありません。つまり、MSUB には寮費と食費のみを納めるということになります。私が留学していた頃は、円安がかなり深刻化していたので、奨学金だけで生活していくのは非常に困難でした。なので、留学に興味のある方は、事前に少しでも多く貯金をしていくことをお勧めします。留学には費用がかかるため、経済的な理由から一歩を踏み出せずにいる方も少なくないと思います。しかし、私は実際に自分でお金を貯めながら準備を始め、留学することができました。今は奨学金や支援制度も充実しており、情報を集め、計画的に取り組めば、留学の可能性は十分に広がります。大切なのは「行きたい」という思いを簡単に手放さないことです。経済的な課題があったとしても、工夫と努力で道は開けると 생각합니다。なので、留学に興味のある方はお金を理由に諦めないでほしいです。

5. 最後に

留学は、語学力の向上だけでなく、異なる文化に触れ、視野を広げる貴重な経験です。海外での生活は大変なこともたくさんありますが、その分自分で考えて動く力

がつきます。留学は決して簡単なことではありませんが、その挑戦を通して得られる経験や成長は大きな価値があると思います。留学に興味のある方はぜひ挑戦してみてください。